

# 東京の裁判 結審まぢか

## あらたな署名集めへ「ご支援を

中国「残留」日本人孤児の関東地域・東京地裁の裁判の結果が、5月24日と決まりました。(判決は秋に?)

全国に先駆けて提訴した東京地裁では、初めの提訴者600余名から、現在は1092名にもなりました。全国初の裁判だったにもかかわらず判決が遅れているのは、裁判長の転勤によるものでした。

昨年7月の大阪判決につづく東京の判決は、全国15地域2155名に及んでいる裁判への影響は大きいです。

（孤児訴訟支援連絡会 第36回世話人会議で）  
総理大臣あての署名を一時

（孤児訴訟支援連絡会 第36回世話人会議で）  
総理大臣あての署名を一時

期中断して、あらたな署名を集めます。5月24日までに全国から十万筆集めることを、目標としています。岡山県内の署名は、現在2万8千123筆です。(3月15日現在)大きな力を発揮している岡山の支援活動。それに増す支援の署名集めを、お願いします。(新聞に署名用紙を折り込みました。不足の方は、支部までご請求ください)

第9回岡山口頭弁論は  
4月19日(水)  
午前10時半〜12時



# 県下に九条の会

## ぞくぞく生まれる

### 70を越える団体が

戦争をする当たり前の国にする」と、戦争を前提とした動きが強まっています。県下でも日本原で自衛隊のアメリカ海兵隊との合同訓練があり、それは市街戦を想定した米軍傘下のものでした。

お隣の鳥取県では侵略を前提に、住民の避難訓練が行なわれています。これらの動きに反対して日本原では集会が、開かれています。また、これらの動きは憲法九条の改定につながるものとして、県下各地に九条の会が立ち上げられています。10日には科学者九条

の会が、百人の科学者でつくられました。これに続く動きはいっせいと云ってもいいほど、多くの会が名乗りをあげています。19日には新見で、25日には西大寺、26日に平井(岡山市)、4月1日には津島(岡山市)6日には弁護士会の会が、15日には美術の会が名乗りをあげています。今は準備の段階ですが、間もなく総社市で、上南(岡山市)の会も発足します。これらの会が発足すると、県内に70を越える憲法九条の会が、発足します。思想信条を越え、地域で職場で九条改定反対の動

きは次第に大きなものになっていきます。  
九条ワッペン「買って」  
上記のカットのように、岡山県九条の会から、こぶしを握った力強い絵柄のワッペンが作られ、発売されました。団結して「がんばろう」の意思を、伝えるものです。大小一組で「百円」です。守ろう九条「世界の宝」と記され、岡山のOと九条の9でデザインされています。作者は平島二郎さんです。どうかお求めください。そして資金つくりへ、力をお貸しください。

### 気の合った同学たちと

大阪のとある中国語教室で机を並べていた 同学(同級生の意味)との中国旅行も、今年で3回目です。

年齢も性格もバラバラですが、なぜか気が合う仲良し3人組。

朝食を食べながらでさえ 平日はどんな美味しいものが食べられるかな?と満面の笑顔で言い放つYさん。これぞ中国という物を買集める事が大好きなKさん。

面白そうなものを発見すると、猪突猛進型で見に行かないと気がすまない私。

### すてきな古都の たたずまい

たたずまい

まずは北京入りした私たちの今回最大の目的は、平遥への小旅行です。平遥は山西省の省都太原から南西約60kmに位置し、古い街並みと明・清時代の城壁が完全に残されており、1997年には世界遺産に登録されています。ちなみに、昨年の日中友好協会の写真で、私はそれを眺めながら「行きたい」という気持ちを募らせていました。

北京で太原行きの飛行機のチケットを手に入れ、太原から列車で平遥に向かいました。

## わたしの小さな旅日記 ①

語菫



雑踏の向こうに見える城門

期待にたがわず、平遥は私たち3人の興味を十分に満たしてくる素敵な街でした。平遥駅から10分程歩くと、屋台と雑踏と車の流れの向こう側に城壁が見えます。

写真で見た時に感じた威圧的な印象は無く、角が取れたような柔らかい趣です。左右の屋台に目を奪われながらも、はやる気持ちで足早に城壁へ向かいます。城門に近づくと、次々と客引きのオツチャンやオバチャンに声をかけられます。オネエチャン今日はどこに泊るの?から始まり、オイラの車に乗ってかない?見所案内するよ!まで、色んなプランを提案していました。彼らが運転しているのは車といつても、自動車ではありません。幌つきの三輪自転車、三輪自転車の自転車部分がバイクに変ったタイプ。それ以外では平遥特有の電気カートがあります。それは15人ほど乗れる客車を牽引していて、遊園地でよく見かけるような乗り物です。環境に配慮しての電気カートのようなのですが、平遥の空気は決して綺麗とはいえません。(次号へつづく)

## 古都 平遥、山西をたずねる

城内からの城壁の眺め



城内からの城壁の眺め

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
新・メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



# 書評



王柯著 多民族国家 中国 (岩波新書 780円)

竹内和夫

中国には1億人をこす少数民族がいます。少数」といっても1千万人をこす民族が2つ(チワン族、満州族)1千万人近い民族が5つ(ウイグル、回、ミャオ族、土家族、イ族)あります。2000年の人口調査で、これら少数民族の比率は中国総人口の8.41%を占めています。

この本は研究書です。簡単に読みとばすことはできません。相当の時間がかかります。少数民族の現状と課題をよく考えています。あとがきからつぎの文を引用します。

ちなみに、中華思想」という和製漢語は、中国の学会に拒否され、中国の思想を語る用語であるにもかかわらず日中両国の公共財とされず、もっぱら一部の日本人研究者の合言葉となつてしまっているのである」

中国は漢民族の国?と思っっている人が多いようですが、55以上の民族からなる多民族国家です。以上というのは、どの民族か、わからない」という人が73万人以上いるからです。中国少数民族」という表題の本は「事典」をふくめて、なん冊も日本で出版されています。

## 論評

### 危機感をあおる

#### 北朝鮮が攻めてくる?

#### 政治の動き

単一民族・単一言語の朝鮮半島が38度線で引きさかれていた。日本にたとえれば名古屋あたりで東西に別れて敵対しているようなものです。こんなおかしなことが、東西ドイツが統一したあとも、つづいています。

02年9月17日、北のピョンヤン(平壤)で日朝宣言を発表して国交正常化への一步をふみ出しました。すっかり忘れてしまったようです。この共同宣言にしたがって話し合いをすすめれば、日朝両国民の利益になるし、アジアの平和に貢献することにもなつたはず。

北朝鮮がせめてくる「ミサイルがとんでくるかも」と、なんとなく思っている人が大勢いるようです。政府は国民保護法の具

## 中国のおやつ

②

### 中国のおやつ事情

宝馬



中国の街頭等で売っていて、ちよつとつまむ程度の軽食類までおやつと考えるのであれば、いわゆる「小吃」なんかもおやつと言えようか。町をぶらぶらしながら食べ歩き、こつこつた類の食べ物だと、南北の差がかなりあり、例えば、「生煎饅頭」や「肉粽子」…これは上海や浙江省辺りのもので、北方では余りなじまないおやつです。

また、「煎餅」というものがあります。これは日本のせんべいではなく、その元祖は、山東省です。小麦粉の焼きパンのことで、これの進化版として天津の「煎餅菓子」というものになります。私が子供の頃よく食べていた朝食&おやつとしては、以下になります。

#### 中国全土(共通)

「粽子」ちまきのこと。中国では昔から端午の節句になると、屈原さんを追憶するために、粽を食べる習わしがある。

「肉粽子」は、北方人の好みに合わないおやつです。因みに「生煎饅頭」は、おやつというよりも上海人の朝食です。

#### 中国南部(南方発祥)

「粥干」味付けで日干した竹の子。(浙江省名物)  
「生煎」厚めの皮で包んだ肉入りの饅頭を鉄板で焼いたもの。(上海名物)  
「小籠」(上海・無錫名物)  
「苔条」青のりをたつぷり混ぜ込んだスナック菓子。(煎餅の味に近い)  
「肉骨頭」超甘いスパアリブの醤油煮。(無錫名物)  
「小胡桃」カシグルミ。  
「排骨年糕」スパアリブの油揚げとお餅炒めの組合せ。(上海名物)

#### 中国北部(北方発祥)

「炸糕」もち米粉で小豆の餡子を包んだ餡饅を油で揚げた点心。(天津名物)  
「豆根糖」きなこ(大豆粉)でできた棒状のキャンデー。日本でいうきな粉げんこつ。  
「鋼巴菜」クレープのお焦げに餡かけした軽食・朝食。(天津名物)  
「芝麻燒餅」表面は胡麻で焼き上げた点心(焼きパン)。  
「豆腐腦兒」非常に柔らかい豆腐に、醤油ベースの餡かけを加え、更に好みの調味料をかけて食べる。

「藕粉粥」蓮根の粉をお湯で溶かし、どろどろとした糊状の食べ物。いわゆる「まず湯」。  
「宋棍兒」果物やミルク、チョコレートなどで味付けしたアイスキャンデーのこと。  
「江米条」もち米粉でつくった花林糖。  
「麦乳精」麦芽乳で濃縮加工されたインスタント飲料(見た目はインスタントコーヒーみたい)。  
「泡泡糖」風船ガムのこと。

確定したものではないとのべたこと、真相を明らかにできない状態におかれていること(帝京大学から警視庁科学捜査研究所へ転職)、おそらく骨にはDNAがなかったこと、北朝鮮からDNA分析のための研究者会議が提案されたが日本は拒否したこと、などです。

「横田めぐみさんの骨?」ところが、拉致問題、核疑惑などアメリカの情報をもとに、国交正常化を妨害する方向へ流されてきました。横田めぐみさんの骨は二セ物という政府見解で外交の道をとぎしてしまいました。

但し、ファーストフードの大量襲来によつて、その大半が消えかけていた(昔の日本の駄菓子みたい)と思いますが、皆さんが中国旅行中で機会があれば、ぜひ、探検や宝探しの気持ちで探してみてください。きつと新しい発見があるはずですよ。

次回の新聞送付作業は 4月3日(月)午後1時半、民主会館2階で行ないます。前回お手伝いくださった方です。

和賀 林山内内井部垣 小澤竹竹坪服三